

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 20 年 7 月 3 日 (2008.7.3)

【公開番号】特開 2005-335389 (P2005-335389A)
 【公開日】平成 17 年 12 月 8 日 (2005.12.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-048
 【出願番号】特願 2005-154048 (P2005-154048)
 【国際特許分類】

B 3 2 B 3/12 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 3/12 B

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 5 月 15 日 (2008.5.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

多層建築材料用のコア材料であって、
 該コア材料が 1 つ以上のコア材棒から成り、
 各コア材棒が、格子セルの壁部により規定された複数の格子セルから成り、
 格子セルの壁部が、母材と強化材とから成り、
 隣接する格子セルの間にある隣接する格子セルの壁部の一部が互いに交差しており、これにより一对の格子セルの壁部の各々が、上記隣接するセルの一方を規定する壁部の一部を形成し、同時に上記隣接するセルの他方を規定する壁部の一部を形成するコア材料。

【請求項 2】

上記一对の隣接する格子セルの壁部の各々が、該壁部の交差を通過する方向に、途切れずに延びている請求項 1 に記載のコア材料。

【請求項 3】

上記母材が、成層材料又は密閉材料から成る群から選択される請求項 1 又は 2 に記載のコア材料。

【請求項 4】

上記強化材が、繊維状強化材、リボン状強化材、又はストリップ状強化材から成る群から選択される請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 5】

上記格子セルの上記壁部が、透過可能な網目状の孔を含んでいる請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 6】

1 つ以上の上記格子セル内の容積が、少なくとも部分的に充填されている請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 7】

充填材が、発泡材料である請求項 6 に記載のコア材料。

【請求項 8】

上記強化材が、ブラシ状端部を有する強化材要素を含んでいる請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 9】

上記ブラシ状端部が、外装材層と結合するために上記コア材料の表面に存在している請求項 8 に記載のコア材料。

【請求項 10】

上記外装材層が、接着した表面材、噴霧された表面材、及び鑄込み表面材から成る群から選択される請求項 9 に記載のコア材料。

【請求項 11】

上記コア材料の高さが、異なる切断面ごとに相違する、及び / 又は切断面内で変化する請求項 1 乃至 10 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 12】

長軸方向に沿って湾曲した 1 つ以上のコア材棒から成る請求項 1 乃至 11 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 13】

それぞれの長軸方向に沿って異なる程度に湾曲している複数のコア材棒から成る請求項 1 乃至 12 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 14】

横方向に配列した複数のコア材棒から成るコア材料であり、
該コア材料が、コア材棒の長軸に対して垂直方向に湾曲している請求項 1 乃至 13 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 15】

上記格子セルが、それらの上側又は下側の境界面において、直線状、屈曲状、及び湾曲状の格子セルの壁部から成る群から選択される断面形状を有する請求項 1 乃至 14 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 16】

隣接する格子セルの交差した壁部が、X 字型を形成している請求項 1 乃至 15 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 17】

隣接する格子セルの交差した壁部が、線に沿って互いに閉じている請求項 1 乃至 15 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 18】

上記格子セルの上記壁部の一部が傾斜して、上記コア材料の上側又は下側の境界面に斜めに交わっている請求項 1 乃至 17 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 19】

互いに結合された、構造の異なる複数のコア材棒から成る請求項 1 乃至 18 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 20】

互いに配列の異なる格子セルを有するコア材棒から成る請求項 19 に記載のコア材料。

【請求項 21】

断面形状の異なる格子セルを含むコア材棒から成る請求項 19 又は 20 に記載のコア材料。

【請求項 22】

格子セルを含むコア材棒から成り、
上記格子セルのセル容積が、異なる程度に充填されている請求項 19 乃至 21 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 23】

格子セルを含むコア材棒から成り、
上記格子セルの壁部が、互いに異なる材料から成る請求項 19 乃至 22 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 24】

格子セルを含むコア材棒から成り、
上記格子セルの壁部は、上記コア材料の境界面に対して互いに異なる角度位置を有する

請求項 19 乃至 23 のいずれかに記載のコア材料。

【請求項 25】

請求項 1 乃至 24 のいずれかに記載のコア材料を、2つの外装材層の間にサンドイッチして成る建築材料。

【請求項 26】

多層建築材料用のコア材料であって、

上記コア材料が、母材と強化材とから成る格子セルの壁部によって規定された複数の格子セルから成り、

上記強化材が、コア材料の表面に、ブラシ状端部を有する強化材要素を含んでいるコア材料。

【請求項 27】

1つ以上の格子セル内の容積が、発泡材料により、少なくとも部分的に充填されている請求項 26 に記載のコア材料。

【請求項 28】

上記発泡材料が、その容積を減少する処理をされて、強化材要素のブラシ状端部を露出している請求項 27 に記載のコア材料。

【請求項 29】

請求項 26 乃至 28 のいずれかに記載のコア材料を、上記強化材要素の上記ブラシ状端部と結合した2つの外装材層の間にサンドイッチして成る建築材料。